

パトロール統計2012 on Shingu Beach

○ パトロール総日数

18日間 (7/7・8・15・16・21・22・27・28・29・8/4・5・11・12・13・18・19・25・26)

○ パトロール総時間

116時間46分 (平均:6時間29分/日)

○ 総入込数

延べ約7,860名 (パトロール実施日のみの延べ海水浴客数)

○ ライフセーバー人数

延べ278人 (平均:15.44人/日、min5人、max25人)

○ 遊泳条件

遊泳可:0日 遊泳注意:18日 遊泳禁止:0日

○ アクシデント

重溺者救助	0件	0名
軽溺者救助	0件	0名
安全移送	9件	26名
迷子捜索	1件	1名
注意喚起	7件	
First Aid	8件	4名 (処置なし:4件)

○ アクシデントの内訳

(※【】内は件数)

救 助	重溺者救助	軽溺者救助	安全移送
疲労	0名	0名	2名【2件】
沿岸流に流される	0名	0名	7名【2件】
風に流される	0名	0名	8名【1件】
浮き具が流される	0名	0名	4名【2件】
パニック	0名	0名	3名【1件】
飲酒	0名	0名	2名【1件】
合計	0名	0名	26名【9件】

First Aid	救急要請	病院受診推奨	手当て
溺水	1名	0名	0名
擦過傷	0名	0名	1名
包丁による受傷	0名	1名	0名
テトラ具による受傷	0名	0名	1名
合計	1名	1名	2名

注 意 喚 起	海保要請	放送注意	口頭注意
PWC・船舶の遊泳エリア進入	1件	0件	3件
雷雲接近	0件	1件	0件
強風	0件	1件	0件
自動車の浜内進入	0件	0件	1件
合計	1件	2件	4件

今年も無事に重溺事故0件でシーズンを終えることができました。

過去、例年のごとく新宮海岸で溺水死亡事故が発生していましたが、新宮ライフセービングクラブとして発足以来「3年連続重溺事故0件」を更新することができました。新宮ライフセービングクラブでは、来年以降も重溺事故0件を更新し続けられるように環境・体制・資器材・スキルを向上させていくため、邁進していく所存です。

今年は7月11日から14日にかけての「平成24年7月九州北部豪雨」災害もあり、梅雨明けの発表も7月23日と例年より遅めの年となりました。よって、夏シーズン前半は海水浴客も少なく、パトロールの雨天中止も2日ありました。しかし、その影響によるものか夏シーズン後半は例年より海水浴客も多い日が続く年となりました。

新宮ライフセービングクラブでは、7/1～8/28の海の家「新宮屋」営業日59日中、土・日・祝日を中心に18日間（計116時間46分）に延べ278人のライフセーバーがパトロールを実施し、26名の安全移送と、4名へのFirst Aidを行っています。

シーズン	パトロール総日数	延べライフセーバー数	重溺者救助	軽溺者救助	安全移送	FirstAid
H22年	15日(84時間11分)	73名	0名	0名	11名	10名
H23年	17日(101時間36分)	171名	0名	2名	42名	8名
H24年	18日(116時間46分)	278名	0名	0名	26名	4名

前年と比較すると救助事案が激減しています。これは、遊泳者への声掛けや浮具流されなどの早期対処を強化し、安全移送をも未然に防ぐ効果があったと考えています。延べライフセーバー数が大幅に増加しているのも、早期対処が可能となったひとつの要因であると考えられます。

事故要因別で見ると、沿岸流・風に流され（浮き具を含む。）による安全移送を行った件数が9件中5件と55.6%（26名中19名：73.0%）を占めており、海象の的確な判断と早期の注意喚起等により、半数以上の救助事案を未然に防げた可能性があります。

来シーズンは、沿岸流や風などの波打ち際と平行方向の流れをより一層留意して、重溺事故・軽溺事故のみならず、安全移送をも減少させていきたいと思っています。

今年は昨年同様、土・日・祝日に加えて金曜日を中心とした平日にもイレギュラーでパトロールを実施しました。しかし、雨天中止等により、パトロール実施日は昨年と比較するとわずか1日増に留まっています。

パトロールを実施していない日が、海の家営業日59日中41日と依然多く、更なる平日パトロールの活動ができる組織体制づくりとメンバーの確保が急務であるといえます。

用語の意味

重溺者：意識不明の溺者

軽溺者：意識はあるが自力で浮くことが困難な溺者

安全移送：自力で浮くことはできるが、自ら安全な位置や浜に移動することができない者の移送

First Aid：応急手当（心肺停止以外の傷者に対し、その状態を悪化させないための最低限の諸手当）

2012年 パトロール風景

